

XbotGo Chameleon

AI-powered Sports Tracking
Phone Mount User Manual

目次

クイックガイド	2
製品の概要	3
ビデオチュートリアル	3
XbotGoカメレオンのボタン	4
準備	5
雲台の充電	5
デバイスの設置	6
撮影場所の選択	7
利用する	9
本体の説明	9
規格パラメータ	11
注意事項	11
XbotGo App	12
よくある質問	27
リモコン	30
XbotGo RC1 リモコン (新バージョン)	35
Apple Watch App	41

01 クイックガイド

XbotGoアプリをダウンロードしてインストールしてください。
アプリストアで「XbotGo」を検索するか、もしくはQRコードをスキャンしてインストールしてください。



XbotGoカメレオン雲台はiOS 15.0以上のシステムが必要です。

XbotGoカメレオン雲台はAndroid 10.0以上のシステムが必要です。



iOS



Android

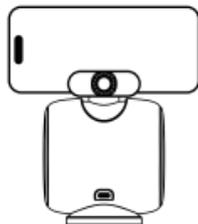
ご注意

1. 初回使用の前に、デバイスのバッテリーが十分であることを確認してください。
2. XbotGo カメレオン雲台の使用を停止する際は、電源がオフになっていることを確認してください。
3. スマートフォンを設置する際、スマートフォンの背面カメラをカメレオントラッカーと同じ側に配置し、最適な撮影効果を得るために、スマートフォンのカメラが右側に配置します。(下図参照)。
4. スマートフォンを設置する際は、スマートフォンの思わぬ落下を防止するために、スマートフォンホルダーのノブをしっかりと締めてください。

スマートフォンの正しい設置方法:



カメレオンの正面



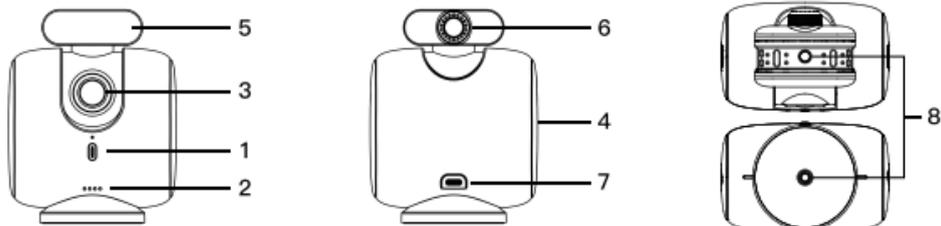
カメレオンの背面

02 製品の概要

XbotGoカメレオンデバイスのスポーツ自動追跡撮影機能を習得するためのチュートリアル動画を提供しています。QRコードをスキャンしてチュートリアルをご覧ください。



03 XbotGoカメレオンのボタン



- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1) 電源ボタン | 5) スマートフォンホルダー |
| 2) バッテリーインジケーター | 6) 固定ノブ |
| 3) トラッカー | 7) Type-C充電ポート |
| 4) サイドライト+ Bluetoothインジケーター | 8) 1/4"ネジロ |

04 準備

雲台の充電

背面のType-C充電ポートを使用して、XbotGoカメレオンデバイスに充電します。

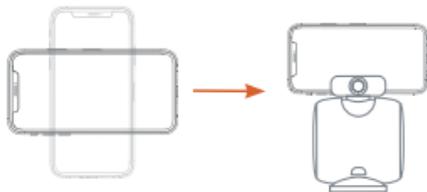
- 5V/2Aのアダプタを使用することをお勧めします。
- 同梱のデータケーブルを使ってアダプタとデバイスを接続して充電します。
- 通常の充電中は、バッテリーインジケータが点滅して充電状態を示します。
- バッテリーインジケータが点灯しない場合は、アダプタとデータケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- **充電時間：3.5時間、使用時間：8時間。**



デバイスの設置

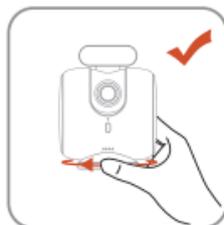
デバイスにスマートフォンを取り付ける際は、以下の手順に従ってください。

1. 取り付ける前に、次のことを確保するためにスマートフォンのケースを外すことをお勧めします。
 - スマートフォンがホルダー内でよりしっかりと固定されます。
 - 室外の高温環境下でのスマートフォンの放熱に役立ちます（スマートフォンが過熱すると自動シャットダウンが発生する可能性があります）。
2. カメレオントラッカーを球場に向けて、スマートフォンの背面カメラをカメレオントラッカーと同じ側に配置し、カメレオンのスマートフォンホルダーに入れてください。スマートフォンが中心に置かれていることを確認し、滑り落ちたりデバイスの追跡機能に影響を与えたりしないようにしてください。



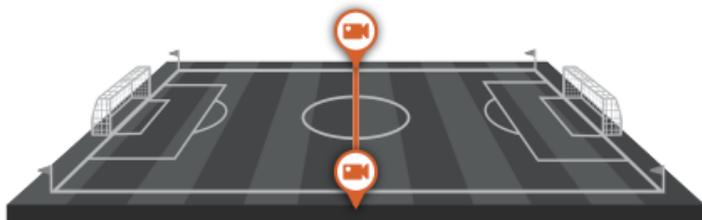
横向または縦向きで中央にスマートフォンを置き、ノブを締めます。
(現在、一人モードのみが縦画面撮影をサポートしています)

3. デバイスを三脚に取り付ける際、デバイスの底部を持って回転取り付けを行ってください。デバイスが損傷する恐れがあるため、機体を回して取り付けないでください。



撮影場所の選択

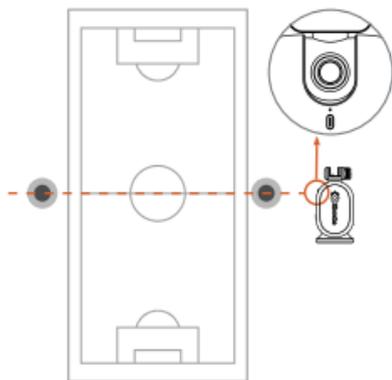
スポーツ大会を撮影する際は、球場の中線付近で撮影することをお勧めします（図示参照）。



（サッカー場の例）

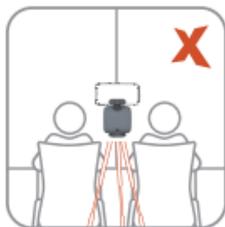
デバイスが会場全体を完全にカバーすることを確保するために、すべての試合モード（バスケットボールのハーフコートを除く）で、以下の手順に従ってください。

1. トラッカーが会場全体をカバーすることを確保し、ブラインドスポットの発生を避けてください。
2. デバイスの位置を調整し、試合を明確にキャッチできるようにしてください。



観客がカメラの視界を遮らないようにするための提案:

1. 三脚をできるだけ高くするか、タッチラインの近くに置きます。
2. カメラの近くにいる観客に注意し、カメラの視界を確保し、遮蔽による撮影効果への影響を避けてください。

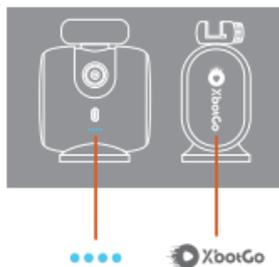


05 利用する

本体の説明

1. 電源ボタン

- **電源のオン/オフ:**
電源ボタンを長押しすると、カメレオン雲台が起動またはシャットダウンします。電源が入っている時はバッテリーインジケータとサイドライトが点灯し、電源がオフの時はバッテリーインジケータとサイドライトが消灯します。
- **Bluetoothのリセット:**
電源が入っている状態で、電源ボタンをダブルクリックするとBluetoothがリセットされ、以前ペアリングされたスマートフォンとのバインドが解除され、新しいデバイスが迅速に接続できるようになります。
- **サイドライト (Bluetoothインジケータ) :**



点灯方式	指示説明
サイドライトの呼吸点滅 (ゆっくり点滅)	Bluetoothは接続されていません
サイドライトの常時点灯	Bluetoothは接続されています

- **レンズリセット:**
自動リセット — 毎回の電源オン/オフで、レンズは自動的に中央位置に戻ります。

2. バッテリーインジケータの充電状態

インジケータ状態	バッテリー容量
1 番目のインジケータが点滅	0% – 25%
2 番目のインジケータが点滅	25% – 50%
3 番目のインジケータが点滅	50% – 75%
4 番目のインジケータが点滅	75% – 99%
四つのインジケータが常時点灯	100%

3. カメラ

水平: 360°; チルト: +/-15°

4. サイドライト

電源が入ると、サイドライトも同時に点灯します。

5. 1/4"ネジ口説明

カメラ雲台のスマートフォンホルダーと本体底部にはそれぞれ1/4インチネジ口が装備されており、拡張取り付けが可能です。

- 本体底部のネジ口: 三脚の取り付けに使用でき、安定性を向上させます。
- スマートフォンホルダー底部のネジ口: 他のアクセサリを拡張して、デバイスがスマートフォン以外の撮影機器にも対応できるようにします。

06 規格パラメータ

製品の重量	544g (スマートフォンを含まない)	使用時間	8 時間
デバイスのサイズ	125mm×100mm×60mm	入力電圧	5V
動作温度	0°C – 40°C	入力電流	2A
動作電圧	3.4~4.2V (標準 3.7V)		
対応スマートフォンのサイズ	対角線: ≤180mm 幅: 55~90mm 厚さ: ≤9.5mm		
充電時間	3.5時間 (5V/2A 充電器使用)		

07 注意事項

1. XbotGo カメレオン雲台が起動過程で外力が妨げないことを確認してください
 - デバイスを起動する際は、三脚にしっかりと取り付けられていることを確認してください。
 - 本製品は防水ではありません、液体に触れたり、水に浸したりしないでください。
 - 自分で分解しないでください。不意の分解によってデバイスに異常が発生した場合は、公式アフターサービスにお問い合わせください。
 - 長時間連続使用するとモーター表面温度が上昇する可能性があります、操作時は安全に注意してください。
 - 適切に使用し、落下や衝突を避けて、デバイスの正常な動作に影響を与えないようにしてください。
 - 子供やペットの手の届かない場所にデバイスを置いてください。

2. 製品を熱源(ストーブやヒーターなど)に近づけないでください。高温の環境(高温の車内や密閉された室内など)に製品を保管しないでください。
3. 製品は乾燥した環境に保管してください。
4. 過充電を避け、電池セルを損傷から守ってください。
5. 本製品は 0℃から 40℃の温度範囲内で使用してください。

08 XbotGo App

XbotGoカメレオン雲台はXbotGoアプリと連携して使用する必要があり、スマートフォンで撮影映像をリアルタイムに表示し、自動追跡、手動撮影、ライブ配信などの機能を提供できます。

接続

1. スマートフォンの設定でBluetooth機能を有効にします。
2. XbotGoアカウントを登録してログインします。
3. XbotGoアプリを開き、ホームページに移動します。iPhoneユーザーは、画面の指示に従って関連する権限を付与し、以降の使用がスムーズになるようにしてください。これらの権限は製品機能の起動のみに使用され、お客様のプライバシーには干渉しません。

4. アプリは「XBotGo-xxxxxx」という名前のXbotGoデバイスを検索します。見つかったら、それを選択して接続を確立してください。見つからない場合は、スマートフォンのBluetooth設定を確認してください。デバイスが他のデバイスとペアリングされている可能性があります。

⚠ カメレオンの電源ボタンを連続してダブルクリックすると、Bluetoothがリセットされ、以前ペアリングされたスマートフォンとの接続が解除され、新しいスマートフォンと素早く接続できるようになります。

5. デバイスが初めて接続されると、ペアリングのリマインダーが表示され、ユーザーは接続するかどうかを選択できます。ペアリングに成功すると、XbotGoアプリは以降の使用時に自動的に接続されます。再確認の必要はありません。



6. ペアリングの通知が表示されない場合は、アプリ内で「撮影 」ボタンを見つけてクリックしてみてください。

7. 接続されたデバイス（カメレオン雲台/リモコン）は、XbotGoアプリのメイン画面に対応するアイコンとデバイス名が表示されます。



8. 手動でXbotGoのデバイスを追加することもできます。  をクリックして、手動でカメレオン雲台/リモコンを追加できます。



 同時に1台の雲台デバイスと1台のリモコンを接続できます。

録画

1. Bluetoothに接続した後、アプリでスポーツイベントを選択し、録画モードに入ることができます。
2. 録画前に、スマートフォンの「おやすみモード」をオンにすることをお勧めします。これにより、着信などで試合の撮影が中断されるのを防ぐことができます。

撮影画面

XbotGoアプリで撮影画面に入ったら、画面上の対応するアイコンをクリックして、関連機能を使用したり、設定項目を調整したりすることができます。



1. 録画機能

- 赤い録画ボタンをクリックして、自動追跡と動画録画を開始/停止します。
- || 一時停止ボタンをクリックして、動画録画を一時停止します。

2. フォーカス距離の設定

- 1.0X 撮影効果と異なるシーンでの追従性能を兼ねるために、異なる撮影モードでアプリは異なるズーム倍率をプリセットしています。
- クリックまたはドラッグすることで手でフォーカス距離を調整することもできます。

3. スコアボード機能



このデバイスは手で試合の得点を記録および変更することができます。スコアボード機能を使用するにはモニター機能を有効にする必要があります。具体的な操作方法はP19モニター部分を参照してください。

4. ライブ配信を開始



- 撮影画面の左側にあるライブ配信ボタンをクリックし、システムの指示に従ってライブ配信のカバーを選択し、ライブ配信のタイトルを入力します。
- ライブ配信はXbotGoプラットフォームで行われ、ライブリンクを共有して外部に配信することもでき、視聴パスワードを設定して観客の範囲を制限することもできます。

5. カメラの切替え



前面カメラと背面カメラを切替えます。

6. 撮影設定

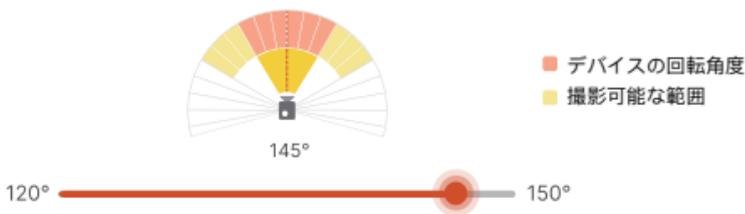
撮影パラメータを変更する必要がある場合、変更後は「現在の設定を保存」をクリックして変更を有効にしてください。デフォルト設定に戻す必要がある場合は「デフォルト設定に戻す」をクリックしてください。

- 画面省電力モード：
デフォルトではオフになっており、必要に応じてオンにできます。オンにすると、画面の明るさが最小に下がり、スマートフォンのバッテリー使用時間が延びます。
- 時刻ウォーターマーク設定：
デフォルトではオンになっており、必要に応じてオフにできます。
- 録音：
デフォルトではオンになっており、必要に応じてオフにできます。

- 解像度:
 - デフォルトは1080p HDです。iPhone 12およびそれ以前のモデルはデフォルト720p HDです。
 - 撮影解像度として4K、1080p、720pを選択できます。
 - 一部の古い機種は、4Kおよび1080pビデオを録画しAI処理を行う際に、コンピューティングパワー不足のためにフレームがドロップする可能性があります。
 - デフォルトの720pで録画しているユーザーは、手動で4Kまたは1080pにアップグレードできますが、トラッキングや録画の効果は保証されません。

720p HD (データ通信量節約)	約12MB/分
720p HD/30fps	約38MB/分
1080p HD (デフォルトでデータ通信量節約)	約19MB/分
1080p HD/25 (PAL)	約60MB/分
1080p HD/30fps	約60MB/分
1080p HD/60fps	約60MB/分
4K/24fps	約270MB/分
4K/25fps (PAL)	約270MB/分
4K/30fps	約300MB/分
4K/60fps	約400MB/分

- 自動フォーカスモード:
デフォルトではオフになっており、必要に応じてオンにできます。オンにすると、撮影中にシーンやタイミングに応じて自動的にフォーカス距離が調整されます。
- 自動追跡モード:
デフォルトではオンになっており、必要に応じてオフにできます。
- デバイスの回転角度:
この設定は、誤判断を防ぐために雲台の左右回転角度を制限するために使用されます。撮影範囲を調整する必要がある場合は、手動で角度を設定できます。
 - 60° ~ 150°の回転角度設定がサポートされており、「自動追跡」モードをオフにすると、雲台は回転を停止します。
 - 赤い領域はカメレオンデバイスの回転角度を示し、黄色い領域は撮影可能な範囲を示します。



- 追跡速度:
追跡速度はカメレオンの回転速度であり、現在の追跡速度は200 ~ 1000で調整可能、デフォルト値は1000で、通常は調整の必要はなく、デフォルトの設定のままで大丈夫です。

モニター

撮影デバイスが高所（例えば3-4メートルの支柱）に設置されている場合、別のスマートフォンを使用してモニター機能を開き、リアルタイムで撮影画面を監視し、遠隔で録画の調整、マークポイントの追加、パラメータの調整などを行い、「一台で撮影し、一台で操作する」という便利な体験を実現できます。

1. デバイスのペアリング

撮影スマートフォンと監視スマートフォンが同じネットワーク（同じホットスポットまたはWi-Fi環境）に接続されていることを確認してください。

- 撮影スマートフォン（撮影側）
 - 「撮影」画面に入ります。
 - 画面の右上にある「モニター」ボタン（）をクリックして、リアルタイム監視を開始します。



- 監視スマートフォン（リモコン側）：
 - 別のスマートフォンのXbotGoアプリを開き、ホームページの右下にある「モニター器」ボタン（）をクリックします。
 - デバイスリストから「撮影スマートフォン」を見つけて接続します。監視スマートフォンに撮影スマートフォンで撮影された映像が表示されます。



- 権限取得：
権限要求のプロンプトが表示されたら、「許可する」をクリックして、モニター機能が正常に使用できるようにしてください。



2. リアルタイム監視と制御

- 画面監視：
撮影デバイスの映像は監視デバイスにリアルタイムで同期され、遠隔で撮影内容を確認できます。
- リモートコントロール機能：

録画コントロール



「録画開始/録画停止」ボタンをクリックして、遠隔で撮影デバイスの録画状態を制御します。

打点マーク



打点

試合中に「打点」ボタンをクリックして、キーモーメント（例：ゴール）をリアルタイムで記録し、後で編集する際に迅速にポジションを特定できます。

手動で撮影角度を調整する



方向コント
ローラー

ボタンをタップすると、画面に方向コントローラーが表示されます。コントローラーの白点をドラッグするか、画面上の方向矢印をタップして、撮影デバイスの雲台の回転をリモートコントロールします。



ドラッグ



タップ

スコアボードの設定



スコアボード

ボタンをタップし、スコア、チーム名などの情報を入力すると、データが撮影デバイスの録画画面に同期表示されます。

現在のスコアボードには4つのスタイルがあります。

汎用スタイル、サッカースタイル、バスケットボールスタイル、アイスホッケースタイル。

撮影時に選択されたスポーツモードに応じて、対応するスコアボードのスタイルが表示されます。サッカー、バスケットボール、アイスホッケー以外のモードでは、汎用スタイルが使用されます。

音声制御



ミュート

環境音の録音をオン/オフします。

画面の非表示



撮影画面内のすべてのコントロールアイコンを表示/非表示します。

⚠ ネットワーク要件

1. データ転送の安定性を確保するために、モバイルホットスポットの使用をお勧めします。
2. 撮影デバイスと監視デバイスの距離が遠すぎないようにしてください（推奨 ≤ 25メートル）。

互換性:

監視デバイスにはXbotGoアプリをインストールする必要があります。

Android: V2.8.0以上、iOS: V3.8.0以上。

動画保存:

録画された動画はXbotGoアプリに保存されます。これらの動画にアクセスするには、「ファイル」に入ってすべての保存された動画を確認します。

アップロード/ダウンロード:

- (↑) アプリのホームページで「ファイル」をタップし、ローカルファイルが表示されます。その後、右上の選択  アイコンをタップして、アップロードまたはダウンロードしたいローカル動画を選択します。
- (↓) アップロードされた動画は「クラウド管理」画面で確認でき、スマートフォンにダウンロードされた動画は「ローカルファイル」で確認できます。

動画共有:

-  アプリのホームページで「ファイル」をタップし、クラウド管理に入ります。次に、右上の選択  アイコンをタップし、共有する動画を選択します。下の共有アイコンをタップして、さまざまな方法で他の人と動画を共有できます。

ライブ配信の閲覧:

アプリのホームページで「ライブ」をタップすると、配信しているスポーツを閲覧できます。スポーツ種目別に異なる画像カテゴリーラベルがあり、地域、視聴者数、動画の人気度などの情報が表示されます。

動画編集:

動画編集機能は「ファイル」→「ローカルファイル」ページにあります。編集が完了したら、各メディアプラットフォームに直接共有できます。

動画追加: 「+」ボタンをタップして、編集タスクを追加します。



1. 合成してエクスポート：

最小2つ、最大5つの動画素材を選択し、1つの長い動画に結合してローカルファイルにエクスポートします。素材選択ページでは、手動でドラッグして編集順序を調整できます。

2. 「打点編集」を選択：

打点機能は、キーポイントを追加することで、動画で特定の瞬間にマークを付け、後で編集する際に迅速にポジションを特定し、エクスポートできるようにします。

最小1つ、最大5つの動画素材を選択し、打点編集ページに移動します。

a. 手動打点編集：

- このページでは手動で打点情報を追加または削除し、マークポイントの前後の編集時間を設定できます。エクスポートすると、キーポイントのハイライトシーンで構成されたハイライトビデオが生成されます。
- 打点編集時間：デフォルトでは、マークポジションの前10秒、後3秒のシーンをカットします。手動で調整も可能で、調整を保存すると新しい設定に応じてシーンがカットされます。

b. バスケットボール向けAI打点編集：

- XbotGoデバイスで撮影されたバスケットボール試合動画の場合、AIを使用してハイライトを自動分析することができ、手動打点もサポートします。エクスポートすると、AIによって自動的に編集されたバスケットボールのハイライトビデオが生成されます。

- AI打点精度: デフォルトでは「精密モード」を使用し、分析時間は長いですがより正確です。「クイックモード」を選択することもでき、分析時間は短いですが結果は簡略化されます。
- AI分析を開始すると、打点精度、編集順序の変更、または動画の追加/削除はできません。

⚠ 編集作業には少なくとも2GB以上の空きメモリを確保する必要があり、そうでない場合作業を完了することができません。編集する動画ファイルが大きい場合は、スムーズに編集を完了するためにさらに多くの空きスペースが必要になる可能性があります。

ユニフォーム番号追跡 (ベータ版) :

この機能はバスケットボールのユニフォーム番号のスマート識別に基づいており、一人モードの撮影シーンに適しています。システムがユニフォーム番号を認識することでターゲット選手を自動的にロックし、正確な追跡録画を実現します。

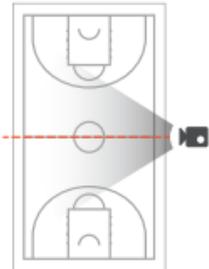
操作手順

1. ユニフォーム番号の追加 (毎回使用時にリアルタイムで追加)

- 「一人モード」に入り、→ 「ユニフォーム番号」を選択し、→ 選手のユニフォーム番号を入力します。
- **写真撮影:** 選手の正面と背面の全身写真を撮影し、対応する番号のユニフォームを着用していることを確認してください。
(認識精度を向上させるために、明るい光の下で、背景がきれいで干渉のないバスケットボールコート内で撮影してください。)

2. デバイスの配置場所

デバイスをコートサイドラインの中央に配置し、アスリートの追跡映像を完全にキャッチできるようにしてください。

フルコート撮影	ハーフコート撮影
撮影画面の中心をセンターラインの位置に合わせて、追跡撮影画面の完全さを確保してください。	撮影画面の中心をバスケットゴールに合わせて、撮影画面の完全な追跡を確保してください。
	

準備作業が完了したら、「撮影開始」をタップしてください。
カメレオンは自動的に選択された番号のユニフォームを着ている選手を追跡します。

09 よくある質問

1. 三脚に関するFAQ:

- スマートフォンの背面のメインカメラがカメレオントラッカーと同じ側にあることを確保してください。
- 三脚を取り付ける際は、カメレオンの下にある円盤をしっかりとは締め、四角い本体を持って回すことは避けてください。
- カメレオンデバイスは、すべての1/4インチネジ付き三脚をサポートしています。XbotGoの新しい三脚は、カメレオンとの取り付けをより迅速に行うために、取り付け部品がアップグレードされています。他の三脚はクイックリリースプレートを使用して取り付けることができます。

2. 追跡異常発生時の考えられる原因:

- カメレオンのバッテリー不足、使用前に十分に充電してください。
- カメレオントラッカーのレンズが汚れている、レンズを清掃する必要があります。
- Bluetoothペアリング間違い、同時に複数のデバイスとペアリングすることは避けてください。
- デバイスの配置位置と角度が不適切、カメレオンのカメラをコートのセンターラインに合わせて配置してください。詳細はチュートリアル動画を参照してください。
- 会場とスポーツ種別の選択ミス、撮影対象、会場、撮影モードの設定が一致していることを確認してください。
- コートサイドライン近くの人混みによるアルゴリズムへの干渉、デバイスをコートサイドラインに配置し、人混みを避けるようにしてください。

3. 特定の選手を追跡できますか:

- バasketボールのハーフコート撮影モードでは、一人モードのユニフォーム番号追跡機能を使用して特定の選手を追跡できますが、この機能はまだテスト版であり、追跡の効果が不安定である可能性があります。

4. 電源異常の解決策:

- 3-4時間充電した後、充電ケーブルを抜き、15秒間長押ししてデバイスを強制的に再起動し、起動できるか確認してください。
- 純正のデータケーブルを使用して充電してください、高出力の充電器は使用しないでください。

5. デバイスのBluetoothに接続できない:

- XbotGoアプリのデバイスリストにChameleonのBluetooth名 (XBotGo-xxxxxx) が表示されていますか?
 - a. はい,
 - Chameleonのバッテリーが十分に確認してください。
 - デバイス管理ページの右上にある更新ボタンをタップしてください。
 - XbotGoアプリを一度終了してから再起動してみてください。
 - ChameleonのBluetoothをリセットしてから、電源ボタンを2回押して再試行してください。
 - Chameleonを再起動してから再試行してください。
 - Chameleonのサイドライトが常時点灯している場合は、他のスマートフォンに接続されている可能性があります、切断してから再試行してください。
 - スマートフォンの設定でBluetoothの履歴接続が多すぎないか確認してください。いくつかのデバイスを削除/忘却してから再試行してください。
 - XbotGoアプリを最新バージョンにアップグレードしてから再試行してください。

b. いいえ、

- Chameleonのバッテリーが十分か確認してください。
- スマートフォンの設定でXbotGoアプリにBluetoothの権限があるか確認してください。権限がない場合は、権限を許可してください。
- スマートフォンのBluetoothはオンですか。オフの場合はオンにしてください。
- Chameleonの起動が完了したことを確認してください。デバイスのチルト校正が終了した後に起動完了です。
- スマートフォンの省電力モード/おやすみモードをオフにしてから再試行してください。
- ChameleonのBluetoothをリセットしてから、電源ボタンを2回押して再試行してくださいください。
- Chameleonを再起動してから再試行してください。
- XbotGoアプリを一度終了してから再起動してみてください。
- Chameleonのサイドライトが常時点灯している場合は、他のスマートフォンに接続されている可能性がありますので、切断してから再試行してください。
- スマートフォンの設定でBluetoothの履歴接続が多すぎないか確認してください。いくつかのデバイスを削除/忘却してから再試行してください。
- XbotGoアプリを最新バージョンにアップグレードしてから再試行してください。

6. 一般的な解決策

- デバイスを再起動し、アプリを一度終了してから再起動してください。
- Bluetooth設定をリセットし、デバイスを再接続してみてください。

10 リモコン

リモコンの仕様



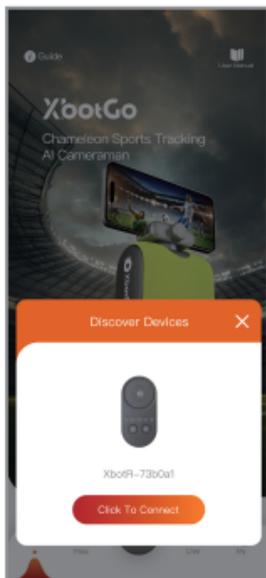
型番	XbotGo RC1
電池型番	CR2032
信号受信範囲	10m
使用環境	-5°C ~ 60°C (23°F ~ 140°F)

クイックスタートガイド



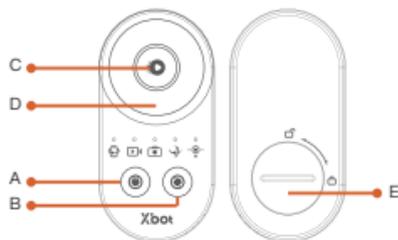
1. 電池ホルダーのカバーを開け、電池底部の絶縁プラスチックシートを剥がし、電池を入れてカバーを閉じます。
2. 電源ボタンを3秒間長押しして、リモコンをオン/オフします。
3. 電源を入れた後、機能選択ボタンをタップして機能の切り替えを行います。
4. 初回使用前にBluetoothペアリングを行う必要があります。
 - a. リモコンの電源ボタンを長押しし、リモコンが起動すると、“スマートフォン接続インジケータ”が赤く点滅します。

- b. 起動したデバイスに近づいたら、XbotGoアプリ内で“XbotR-XXXX”を選択し、ペアリングをタップします。接続が完了すると、インジケータが青色になります。
5. 超出信号距離：通信距離超過
リモコンの赤いメニュー表示灯とリングライトが点滅している場合、リモコンの接続は切断されています。1分以内に受信可能範囲に戻ると、リモコンの青いライトが点灯し、リモコンは自動的に接続を回復します。
6. スリープと電源オフ：
リモコンは3秒以上操作されないとスリープモードに入ります。スリープモード中に任意のボタンを押すと接続が復元されます。スリープが30分以上続くと、リモコンは自動的に電源オフになります。再度電源ボタンを押し、デバイスに近づくことで再接続できます。



⚠ 使用中にリモコンが切断されても、リモコン自身の操作にのみ影響し、現在実行中のプログラムには影響しません。XbotGoアプリを使用してリモコンが見つからない場合は、電源ボタンを3秒間長押ししてリモコンの電源を切り、再度電源ボタンを3秒間長押ししてリモコンを再起動し、再度ペアリング接続を行うことで正常に使用できます。

XbotGo RC1 リモコン



- A. 電源ボタン
- B. 機能選択ボタン
- C. 確認ボタン
- D. 方向キー（ダイヤル）
- E. 電池ホルダー

ボタンと機能

使用を開始する前に、必ずリモコンの各機能を理解してください。

動画撮影機能

機能選択ボタンを押して、動画撮影機能に切り替えます。動画撮影機能モードで確認ボタンを押すと、撮影を開始または停止します。

• リモコン側:

1. 一回「ピー」という音がすると、XbotGo アプリが撮影を開始したことを示します。
2. 2回連続で「ピー」という音がすると、XbotGo アプリが撮影を停止したことを示します。



- **XbotGo アプリ側:**

3 秒後に青色のヒントマスクが表示され、3 秒後にマスクが自動的に消えます。この時点で撮影状態に入り、操作指示に応じて撮影状況を確認できます。

写真撮影機能

- 機能選択キーを押して、写真撮影機能に切り替えます。
- 写真撮影モードで確認キーを押して写真を撮ります。



転向機能

- 機能選択ボタンを押して、転向機能に切り替えます。
- 上、下、左、右の矢印キーを押すと、レンズが対応する方向に回転します。



打点機能(動画撮影時のみ使用可能)

手動でキーポイントを追加することで、動画の中でハイライトシーンをマークし、後の編集時に迅速にポジションを特定してエクスポートできるようにします。

- 動画撮影を開始します。
- リモコンで打点モードに切り替えます。
- マークしたいシーンの際に、確認ボタンを押して打点します。
- 撮影終了後、動画タイムラインに打点の時刻が特別な色でマークされます。



電池

リモコンにはCR2032 ボタン電池が付属しています。
最高の製品性能を得るために、次のことをお守りください。

- 他の種類の電池を使用しないでください。
- リモコンを2ヶ月以上使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池を通常のゴミとして捨てないでください。地域の法律に従って正しく電池を処理してください。



警告

この製品にはボタン電池が含まれており、有害物質を含んでいますが、絶対に飲み込まないでください。子供の手の届かない場所に置いてください。誤って電池を飲み込んだ場合、化学的なやけどや軟部組織の穿孔、さらには死亡の可能性があります。飲み込んだ後2時間以内に重度のやけどが発生する可能性があります。すぐに医療機関に行ってください。

リモコンに関する注意事項

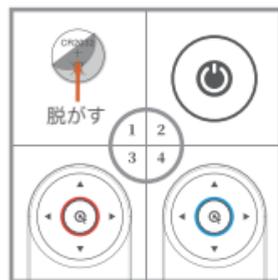
- リモコンは撮影スマートフォンから10メートル以内で使用する必要があります。
- リモコン信号を受信すると、XbotGoアプリがペアリングを促します。

11 XbotGo RC1 リモコン (新バージョン)

リモコンの仕様



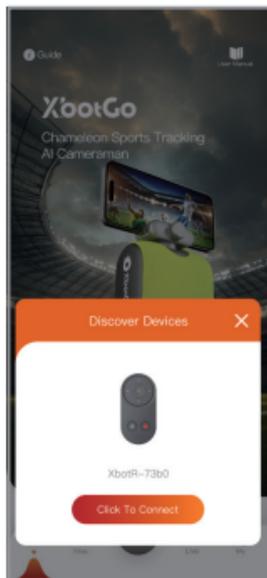
型番	XbotGo RC1
電池型番	CR2032
信号受信範囲	10m
使用環境	-5°C ~ 60°C (23°F ~ 140°F)



クイックスタートガイド

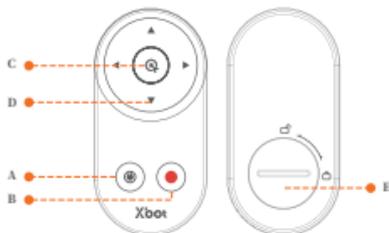
1. 電池ホルダーのカバーを開け、電池底部の絶縁プラスチックシートを剥がします。
2. 初めて使用する前にBluetoothペアリングを行う必要があります。電源ボタンを3秒間長押しして、リモコンのオン/オフを切り替えます。
3. リモコンの電源を入れた後、“スマートフォン接続インジケータ”が赤く点滅します。

4. 起動したデバイスに近づいたら、XbotGoアプリ内で“XbotGoR-XXXX”を選択し、ペアリングをタップします。接続が完了すると、インジケータが青色になります。
5. 通信距離超過
リモコンの赤いメニュー表示灯が点滅している場合、リモコンの接続は切断されています。1分以内に受信可能範囲に戻ると、リモコンの青いライトが点灯し、リモコンは自動的に接続を回復します。
6. スリープと電源オフ
リモコンは3秒以上操作されないとスリープモードに入ります。スリープモード中に任意のボタンを押すと接続が復元されます。スリープが30分以上続くと、リモコンは自動的に電源オフになります。再度電源ボタンを押し、デバイスに近づくことで再接続できます。



使用中にリモコンが切断されても、リモコン自身の操作にのみ影響し、現在実行中のプログラムには影響しません。XbotGoアプリを使用してリモコンが見つからない場合は、電源ボタンを3秒間長押ししてリモコンの電源を切り、再度電源ボタンを3秒間長押ししてリモコンを再起動し、再度ペアリング接続を行うことで正常に使用できます。

XbotGo RC1 リモコン



- A. 電源ボタン
- B. 録画キー
- C. 打点キー
- D. 方向キー（ダイヤル）
- E. 電池ホルダー

ボタンと機能

使用を開始する前に、必ずリモコンの各機能を理解してください。

電源オン / 電源オフ

電源ボタンを3秒間長押しして、リモコンをオン / オフします。

カメレオンの中央戻り

電源ボタンをダブルタップすると、カメレオンが自動的に中央に戻ります（デフォルトの視野角に復元されます）。録画中に自動追尾モードがオンの状態であれば、カメレオンが中央に戻った後も自動追尾録画を続けます。



Bluetooth ペアリング

電源ボタンを長押しして電源を入れ、Xbotgo アプリを実行してリモコンに接続します。

- インジケータ

赤点滅：接続されていない状態。

青常時点灯：正常に接続されています。

- 省エネモード

3 秒以上操作されないとインジケータが消灯し、任意のボタン操作をすると、復帰されます。



リモコンのリセット

電源オンの状態で打点ボタンを 3 秒以上長押しして、リモコンがリセットされます。



動画撮影機能

赤ボタンは録画開始、録画一時停止、録画再開、録画停止の機能キーです。

- 録画開始

1 回クリックすると、「ピッ」という音が鳴り、インジケータが青色でゆっくり呼吸点滅して、録画を開始します。

- 録画一時停止

録画中に 1 回クリックすると、「ピッ、ピッ」という音が鳴り、インジケータが青色で早く呼吸点滅して、録画が停止します。

- 録画再開

録画一時停止中に 1 回クリックすると、「ピッ」という音が鳴り、インジケータが青色でゆっくり呼吸点滅して、録画を再開します。



- 録画停止
1.5秒長押しすると、「音ビ〜〜」という長い音が鳴り、インジケータが青色で常時点灯して、録画を停止します。

転向機能

上、下、左、右の矢印キーを押すと、レンズが対応する方向に回転します。

- 短押
方向キーを短押すると、レンズは対応する操作で一時的に方向を回転し、その後回転が停止します。
- 長押
方向キーを長押すると、レンズは対応する操作で持続的に方向を回転し、方向キーを放すと回転が停止します。



打点機能(動画撮影時のみ使用可能)

録画中に手動でキーポイントを追加することで、後の編集時に迅速にハイライトシーンを特定して編集できます。

- 打点成功
録画を開始した後、打点ボタンを押すと、リモコンが1回音を鳴らし、打点成功を示します。
- 打点無効
録画が一時停止または停止している場合、打点ボタンを押すと、リモコンのインジケータが赤点滅し、音を鳴らします。この時、打点は無効となり、システムはその指示を自動的に無視します。



電池

リモコンには CR2032 ボタン電池が付属しています。
最高の製品性能を得るために、次のことをお守りください。

- 他の種類の電池を使用しないでください。
- リモコンを 2 ヶ月以上使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池を通常のごみとして捨てないでください。地域の法律に従って正しく電池を処理してください。



警告

この製品にはボタン電池が含まれており、有害物質を含んでいますが、絶対に飲み込まないでください。子供の手の届かない場所に置いてください。誤って電池を飲み込んだ場合、化学的なやけどや軟部組織の穿孔、さらには死亡の可能性があります。飲み込んだ後2時間以内に重度のやけどが発生する可能性があります。すぐに医療機関に行ってください。

リモコンに関する注意事項

- リモコンは撮影スマートフォンから10メートル以内で使用する必要があります。
- リモコン信号を受信すると、XbotGoアプリが自動的にペアリングを促します。

12 Apple Watch App

使用ガイド

- スマートフォンのXbotGoアプリで撮影状態に入った後、Apple WatchのXbotGoアプリを起動すると、Apple Watchの画面でスマートフォンの撮影画面をプレビューできます。
- 上、下、左、右の方向キーをタップすると、雲台の回転方向を制御できます。

制御画面

アプリのホームページを左にスワイプして撮影制御画面に入ります。

- **動画撮影機能:** 左側の動画撮影ボタンをタップして、動画撮影状態を開始または終了します。
- **写真撮影機能:** 撮影ボタンをタップすると、録画中に静止画を撮影できます。写真はスマートフォンのXbotGoアプリのローカルファイルで確認できます。
- **マーク機能:** 手動で撮影プロセスの特別なシーンをマークして、後で編集する際に迅速にポジションを特定してエクスポートできます。



XbotGo Chameleon

AI-powered Sports Tracking Phone
Mount User Manual

Version 2.1 May 2025

XbotGo™
WWW.XBOTGO.COM



内容に更新がある場合は、別途通知は行いません。
さらに情報が必要な場合は、XbotGo の公式ウェブサイト www.xbotgo.com で確認してください。